

職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例概要

1 退職手当の基本額に係る支給割合の改定

退職手当の基本額に係る勤続期間ごとの支給割合を次のように改定する。

(1) 普通退職の場合

| 勤続期間 | 現 行 | 改 正 案 |
|---------|-----------|-----------|
| 1年～10年 | 50 / 100 | 〔現行どおり〕 |
| 11年～15年 | 115 / 100 | 107 / 100 |
| 16年～20年 | 155 / 100 | 153 / 100 |
| 21年～25年 | 210 / 100 | 200 / 100 |
| 26年～30年 | 140 / 100 | 134 / 100 |
| 31年以上 | 105 / 100 | 101 / 100 |

最高支給率については、41.25月を39.75月とする。

(2) 定年退職等の場合

| 勤続期間 | 現 行 | 改 正 案 |
|---------|-----------|-----------|
| 1年～10年 | 85 / 100 | 83 / 100 |
| 11年～15年 | 165 / 100 | 157 / 100 |
| 16年～25年 | 175 / 100 | 168 / 100 |
| 26年～34年 | 160 / 100 | 154 / 100 |
| 35年以上 | 90 / 100 | 89 / 100 |

最高支給率については、49.55月を47.7月とする。

2 退職手当の調整額に係る改正

退職手当の調整額に係る区分及び退職手当の調整額の算出に係るポイントを次のように改正する。

| 現 行 | | | 改 正 案 | | |
|-------|----------------------|--------------|-------|--------------------|--------------|
| 区 分 | 適用区分 | 在職1年当たりのポイント | 区 分 | 適用区分 | 在職1年当たりのポイント |
| 第1号区分 | 部長 | 402 | 第1号区分 | 部長 | 400 |
| 第2号区分 | 統括課長 | 335 | 第2号区分 | 課長・園長 | 300 |
| 第3号区分 | 課長・園長 | 268 | 第3号区分 | 課長補佐 副園長 | 215 |
| 第4号区分 | 総括係長 副園長 | 207 | 第4号区分 | 係長 統括技能長 | 190 |
| 第5号区分 | 係長 統括技能長 | 185 | 第5号区分 | 技能長 | 170 |
| 第6号区分 | 技能長 | 168 | 第6号区分 | 主任 技能主任 主任教諭 | 148 |
| 第7号区分 | 主任主事 技能主任 主任教諭 | 146 | 第7号区分 | 上記以外の 職員 | 〔現行どおり〕 |
| 第8号区分 | 上記以外の 職員 | 0 | | | |

3 支給制限処分に係る改正

懲戒免職処分等に係る退職手当について、全額不支給を原則としつつ、非違の内容や程度等に特に斟酌すべき事情がある場合には、一部を不支給とすることができるものとする。

4 施行期日

本年4月1日